令和５年２月６日

令和５年度松阪市一般会計当初予算

| | |
|---|---|
| 番号 | 9 |
| 事業名 | カーボンニュートラル推進事業 |
| 予算額<br>（主な支出） | ①温暖化対策調査等事業費　11,879 千円（環境課）<br>②脱炭素化住宅等促進補助金　19,000 千円（環境課）<br>③地区市民センター管理運営事業費ほか　2,140 千円（地域づくり連携課ほか）<br>※庁舎等整備事業費ほか　193,073 千円（財務課ほか）<br>④公共施設への太陽光発電の導入　0 千円（環境課）<br>⑤中小企業カーボンニュートラル推進事業補助金　24,500 千円（企業誘致連携課）<br>⑥マイクロ水力発電　0 千円（水源管理課）<br>⑦Ｊ-クレジット創出事業費　6,410 千円（林業振興課）<br>⑧環境保全一般経費ほか　1,500 千円（環境課ほか）<br>総　額　258,502 千円 |
| 特定財源 | なし |
| 事業の概要 | ①地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定<br>②家庭（住宅）の脱炭素化の支援<br>③リース方式による公共施設の一括 LED 化<br>（各地区市民センター、第一公民館、第二公民館、幸公民館、嬉野宇気郷公民館、中郷公民館、豊地農構センター、中川コミュニティセンター、豊田農村集落センター、中原文化センター、米ノ庄公民館、鵲公民館、飯高老人福祉センター、飯高保健センター、飯高林業総合センター、嬉野生涯学習センター）<br>※工事方式による公共施設の LED 化<br>（本庁舎本館等、飯南体育センター、道路照明灯）<br>④PPA 方式による公共施設（避難所・防災拠点施設等）への太陽光発電の導入<br>⑤中小企業の脱炭素化の支援<br>⑥水道施設を活用したマイクロ水力発電<br>⑦森林整備によるＪ-クレジットの創出<br>⑧公用車の EV 化（環境課、飯南地域振興局、飯高地域振興局） |
| 事業の背景など | 政府は、2020 年 10 月、「2050 年までの脱炭素社会の実現」を宣言し、翌年６月には、国・地方脱炭素実現会議において「地域脱炭素ロードマップ」が公表され、松阪市においては、昨年度から地域脱炭素ロードマップ等にしたがい、公共施設への太陽光発電の導入など脱炭素への取組を開始したところである。<br>さらに松阪市においては、脱炭素に関して国と同水準の目標を掲げることとし、「松阪市ゼロカーボンビジョン」を公表するとともに、ゼロカーボンシティ宣言を表明する。<br>令和５年度以降は、当該ビジョン等に基づき、脱炭素に資するさまざまな施策を講じていくこととしている。 |

| | |
|---|---|
| 目的・効果など | 公共施設の省エネの推進や再エネの導入により CO2 排出量を削減することができ、J-クレジット制度に基づく植林や間伐を行うことで CO2 吸収量の拡大を図ることができる。<br>また、中小企業カーボンニュートラル推進事業補助金や脱炭素住宅等促進補助金等により、中小企業や家庭における脱炭素化を図ることができるとともに、脱炭素への意識の醸成を促進することができる。 |
| 事業スケジュール | ①令和６年３月策定<br>②令和５年４月以降、補助金交付申請受付<br>③令和６年１月以降、LED 照明利用開始<br>④令和５年５月以降、PPA 事業者公募<br>⑤令和４年度から引き続き実施<br>⑥令和５年度中の発電を目指す<br>⑦令和６年１月　クレジット認証<br>⑧リースの更新時期にあわせて導入 |
| 添付資料 | あり |
| 備考 | なし |
| 担当課 | ①環境生活部　環境課　（53-4065）<br>②環境生活部　環境課　（53-4065）<br>③LED リースに関すること。<br>環境生活部　環境課　（53-4065）　*施設に関することは各施設所管課<br>※LED 工事を行う施設に関すること<br>総務部　財務課　（53-4315）<br>教育委員会事務局　スポーツ課　（53-4400）<br>建設部　建設保全課　（53-4150）<br>④環境生活部　環境課　（53-4065）<br>⑤産業文化部　企業誘致連携課　（53-4365）<br>⑥上下水道部　水源管理課　（28-2836）<br>⑦産業文化部　林業振興課　（46-7124）<br>⑧環境生活部　環境課　（53-4065）<br>飯南地域振興局　地域振興課　（32-2511）<br>飯高地域振興局　地域振興課　（46-7111） |